

三豊総合病院だより

Mitoyo General Hospital



新年明けまして
おめでとうございます。

三豊総合病院 院長 白川和豊



発行●三豊総合病院

発行人●白川 和豊

KOKORO

2011
45

今年は新棟整備事業の途上ではあります、待望の新西棟が6月には完成予定で、夏ごろから新しい救急室や病棟を利用できるようになります。長期間の工事で、患者さん・ご家族の皆さん、また近隣の皆さんにご迷惑をおかけしていますが、今しばらくのご協力をお願い申し上げます。



さて、医療や福祉、教育などは、社会的共通資本といわれます。住みやすい、住みがいのある地域を造るためににはそれらの資本が、足りていて、みなが大事に利用しているということが前提になろうかと思います。昨年の11月3日、観音寺市民会館において、市議会主催で「地域医療を守るために」という市民フォーラムを開きました。地域医療を守るということは、

- ①急病になったときいつでも必要な医療を受けることが出来る。
- ②単に、病気の治療だけでなく、予防や、健康の保持増進のため、自助、互助、共助 公助のシステムが存在し、機能している。
- ③障害を持っても、安心して、医療や福祉サービスを受けることが出来る。
- ④人生の終末期においても、住みなれた地域の中でその人の尊厳性を大切にした医療や介護サービスを受けることが出来る。

これらの要件を満たす地域を、市民と行政と、医療従事者が協働して造り維持していくことであると申し上げました。そのためには、医療提供者である私たちは、まだまだ努力をしていかなければならぬことは当然ですが、市民の皆さんにも、救急医療の現状や、医師・看護師不足の現状を知っていただき、人的医療資源が絶対的に足りない中で、その資源を上手に利用していただきたい。日ごろから、自助、互助について考えていただきたい。軽症での夜間の救急外来受診や、コンビニ受診は控えてほしい。

そうお願いをいたしました。

医師不足や看護師不足が言われて久しいのですが、解決の兆しは無く、特に当地域のような田舎地方ではますます人材確保が難しくなってきています。医療の高度化、専門分化に対応して医療の質の向上を図り、患者さんの医療需要に応えていくためには今以上に医師や看護師を増やさねばなりません。本来は、政治が計画的な人材養成を行い、計画的な配置をしない限り、このような地方病院の人材不足という苦難は解決しないのでしょうか、私たちは、「足りない、足りない」と愚痴っていても仕方ありません。それぞれが、最大限の努力を行ない、不足分は補い合い、場合によっては他の医療圏の資源を利用してもらわざるを得ません。

三豊総合病院の役割は、もちろん、急病への対処が第一義なのですが、一方で当地域に必要な医療人を育成するという重要な役割があります。医師、看護師のみならず、薬剤師や検査技師、レントゲン技師など有為な若い人たちを、技術や知識だけで無く、患者さんの苦痛に共感できるよき医療者に育てていくという役割があります。さいわい今年の4月から、若い初期臨床研修医が6名赴任してくれる予定です。市民の皆さんとの暖かい視線の中で研修させ、「よい医師」に育てていきたいと思っています。若い看護師や技師、事務職員にも、温かな視線をそいでくださるようお願いします。患者さんの弱い立場に共感し、質のよい医療を提供できる医療人に育っていくためには、皆さんの厳しくも暖かい気持ちの効果には大きいものがあります。

「此處の住人でよかつた」といえる地域をみなさんとともに造りたい。今年もよろしくご協力をお願いします。





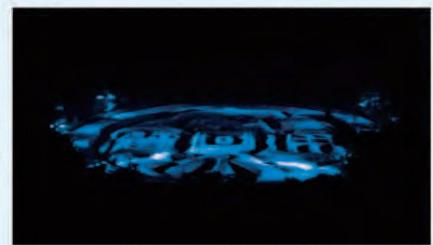
世界糖尿病デーin香川2010 西讃糖尿病対策推進会議事務局 米井泰治

11月14日は誰の誕生日でしょうか？①力道山②チャールズ皇太子③フレデリック＝バンティング、答えは全て正解です。バンティング（1891年出生）はカナダの医学者でインスリンの発見により1923年度のノーベル賞を受賞しました。拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、2006年国連は国連総会で、「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を可決しました。同時に11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」を使用したシンボルマークを採用。全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



2007年から世界で糖尿病の啓蒙活動として世界糖尿病デーに各地のシンボルをブルーにライトアップする活動が行われています。しかし2007年2008年と香川県はなにもしていませんでした。そこで一昨年は琴弾公園の銭形をライトアップしました。続いて昨年は丸亀城をライトアップしました。まず香川労災病院へ集まって岩田康義先生の「糖尿病とのつきあい方」の講演会を聞いた参加者はウォークラリーを行いました。なぜか糖尿病とは全く関係ないクイズを解きながら丸亀の町とお城の周りを散策しました。会は17時30分に終わってそれからです。次第に日が暮れてお城がブルーに輝いてきます。お城の南側（裏側）はあまり色が変わっていなかったような感じましたが、北の駅側は素晴らしい景色でした。もちろん、銭形は今年もライトアップしました。

ライトアップが始まりで、西讃糖尿病対策推進会議ではこの三豊市觀音寺市に地域糖尿病療養指導士（糖尿病の療養指導を出来る医療スタッフ）を認定する体制づくりを2011年度から始める予定で今準備中です。来年もライトアップの事業も継続する予定ですので皆さん見に来て下さい。



たかが乾燥肌？されど乾燥肌！ 三豊総合病院 皮膚科 安井陽子

『冬になると、なぜか下肢がカサカサする』、『夏には感じないのに、寒くなると体がむずむずかゆくなる』…、そんな経験はありませんか？

このような皮膚の不快な症状は、皮膚のある部分の機能が低下しているために起こるのです。その部分とは、生体の最も外側を構成している皮膚の『角層』です。

我々の皮膚は、外側から『表皮・真皮・皮下組織』の3層構造をしており、さらに表皮は外側から『角層・顆粒層・有棘層・基底層』の4層構造をしています。表皮を構成するのは主に表皮細胞であり、約2週間かけて、内側の基底層から外側の角層に向かって成熟していきます。角層は表皮の作り出した生体由來のバリア膜として、生体を外的から守り、種々の保湿成分を含有することで、生体の活動に最も重要な水分を保持する役割を担っています。

角層がきれいに積み重なり、正常に機能している状態では、角層のバリア機能が発揮され、角層内に適正

な水分が保持されています。冬になり、空気が乾燥することで、この角層のきれいな積み重なりが破綻し、角層内の水分保持量が減少することで、小さな刺激に敏感になり（=かゆみを生じる）、適正な水分を保つことができなくなる（=乾皮症を引き起こす）のです。

これらの不快な症状を緩和するためには、角層のバリア機能を助け、角層内の保湿成分の補充をすること、つまりスキンケアが大切です。

皮膚科では、患者様の皮膚の状態に合わせて、外用剤を処方しています。例えば、ワセリンなどの油脂が基剤の軟膏は、傷ついた角層を覆い過剰に水分が失われるのを防ぎます。また、尿素やムコ多糖類などの保湿成分を含むクリームは、角層内に水分を引き寄せるのに役立ちます。冬の乾燥肌に伴う不快な症状のある方は、一度皮膚科にご相談ください。私たちの体を覆って守っている『角層』を整えて、かゆみやカサカサを治していきましょう。



三豊観音寺市医師会症例検討会より

「最近、当院のICUに入室した急性中毒患者について」

三豊総合病院 麻酔科
片山 大輔



私が赴任した2009年4月から、ICUに入室した急性中毒患者についてまとめてみました。2009年4月から2010年9月末までの18ヶ月間で、ICUに入室した全患者数は約500人で、そのうち急性中毒患者数はわずか8人でした。アルコールによる1例以外は、自殺企図にて薬剤または農薬を内服したものでした。（表1）ICUに患者さんが入るのは、呼吸もしくは循環に問題がある場合がほとんどです。

急性中毒に対する初期治療というものは、原則としてABCと呼ばれる、すなわち気道確保・呼吸・循環に対する治療であり、特別なものではありません。特に薬剤の内服による中毒の場合はそれだけでも十分な対応になる場合が多いです。また内服初期（通常2時間以内）には活性炭の投与により、薬物の吸収を妨げることも多くの場合に有効となります。

薬剤内服による急性中毒の場合は、嘔吐物による窒息などを起こさない限り生命の危険を伴うことはまずありません。点滴による水分補給や酸素投与と活性炭投与により、通常は数日以内に自然回復します。農薬の内服の場合も基本的な治療は同じです。ただし、液体の農薬は吸収が早いので、薬剤内服による中毒よりも症状の出現が早く、それに伴い治療も早期から行う必要があるものが多いのが特徴です。アルコールの場合も同じです。アルコール中毒による死亡は呼吸が止まることが原因ですので、呼吸の補助を行うことが主な治療になります。

薬剤や農薬の場合、どのような種類のものをどのくらいの量を内服したか、また飲んでからどのくらい時間が経っているか、という情報が治療の助けになります。もし誤って薬剤や農薬などを飲んだ場合には、飲んだものを病院に持参していただくと、その後の治療に役立てることができます。飲んだものを吐かせていい場合、いけない場合があります。無理に吐かせようとはしないでください。また、薬剤・農薬の種類によっては治療を早く始めないといけないものもありますので、できる限り早期に救急受診をするようにして頂ければと思います。

表1. 急性中毒の原因

原因	人数(人)
抗精神病薬・睡眠薬	4
農 薬	3
アルコール	1



耳鼻咽喉科 米崎 雅史

2010年11月から三豊総合病院耳鼻咽喉科に赴任してきました米崎と申します。香川大学医学部を卒業し、研修医を経て香川大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局いたしました。

た。九州の出身ですが、香川県は居心地が良く今のところ地元に帰るつもりはありませんので、今後ともよろしくお願い致します。

のむら ゆみ
野村 優美

11月より5ヶ月間研修させて頂きます野村優美と申します。これまで香川大学附属病院にて約1年半研修いたしました。三豊総合病院ではたくさんの症例を経験して1歩ずつ成長していかなければと思います。1日でも早く病院・地域になれて頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

三豊観音寺市医師会症例検討会より

変形性膝関節症の手術療法

三豊総合病院 整形外科
井 上 和 正



変形性膝関節症（内側型）の治療としては、投薬、関節注射、理学療法、運動療法、装具療法などの保存的治療が最初に行われます。しかし、保存療法に抵抗して症状が持続する患者様に対しては、それぞれの症例に見合う手術的治療法を検討することになります。変形性膝関節症の手術療法には、関節鏡視下手術、高位脛骨骨切り術、人工膝関節置換術が主に行われています。今回は、最終の手術とされる人工膝関節置換術に至るまでに施行される、関節鏡視下手術と高位脛骨骨切り術について、述べさせていただきました。

関節鏡視下手術は侵襲の小さな手術で、短期間の入院で実施できる手法です。
変性半月板の切除、骨棘の除去、滑膜切除、後内側解離、骨穿孔術など、様々なものがあります。下肢の肢位が良好な場合や、変形性膝関節症のステージが初期かそれに近い場合では、関節鏡視下手術の成績は良好ですが、条件の良くない場合は、その効果は短期的にとどまり、高位脛骨骨切り術の適応となってきます。

高位脛骨骨切り術は、従来はCovenrtyらが提唱したclosing wedge法が行われてきました。closing wedge法は、手術手技が比較的難しく、また術後のリハビリにおいて荷重を開始するのに、約2ヶ月間は待機を余儀なくされ、それに伴い入院期間の長期化を招いていました。ここ数年では、徐々にopening wedge法が導入され、普及してきました。opening wedge法は術後約2週間後から部分荷重が可能であり、約4週でほぼ全荷重が可能ですので入院期間も当院では、closing wedge法の約1/2まで短縮できています。骨癒合率も高く、偽関節は経験していません。

高位脛骨骨切り術は適切な矯正角度が得られれば、恒久的に安定した成績を獲得できる場合もあるといわれており、人工膝関節置換術に至るまでのtime saving的な位置づけとは限らないとされています。また、将来的にさらに変形性膝関節症が進行し人工膝関節置換術が必要になった場合でもopening wedge法による高位脛骨骨切り術を施行した症例では、手術の施行が容易であるといわれており、opening wedge法はメリットの多い手術法と思われます。



癒しの調べコンサート ～ヘルマンハープ演奏～

平成22年9月29日、南棟1階ホールで癒しの調べコンサートが行なわれました。

演奏曲は「パッヘルベルのカノン」「赤いスイートピー」「ロンドンデリーの歌」などでした。ヘルマンハープの優しい音色に心が和み、涙を流している方もおられました。しばらくの間、会場は暖かい雰囲気に包まれました。

演奏終了後、演奏体験の時間も設けられ、患者さま方も楽しまれました。癒された時間を提供していただいた演奏者のみなさんに感謝いたします。ありがとうございました。



ヘルマンハープとは、約20年前にドイツのヘルマン・フェーさんが、ダウン症の息子さんにも演奏できる楽器を…と考案された小型のハープです。黒や白の●印を点線や実線がないでる譜面を、弦と楽器の本体の間に入れて、●印の上にある弦を弾けば、曲が弾けるようにできています！！

インフルエンザにご注意を！ 三豊総合病院 呼吸器科 山地康文

今年もインフルエンザが流行する季節を迎えようとしています。2009年シーズンは新型（豚型）インフルエンザがメキシコから発生し、それが瞬く間に全世界に拡がりを見せました。強毒性鳥インフルエンザのヒトへの感染拡大を何年も前から専門家が警告を発しWHOの勧告に基づいて我が国も国や地方自治体、医療機関などが対策作りをまさにしようとしていた矢先でした。その後はご存じの通り、同年春頃から我が国でも発生し、大騒ぎになった訳です。

その結果は結局どうだったのかと言いますと、我が国ではインフルエンザでの死亡率が世界で一番少なかったのです。それは大変良いことでした。

その理由として以下のことが言われています。1.多くの国ではかぜ程度では医療機関に掛からない（基本的にはインフルエンザも体力のある普通のヒトでは安静と休養で自然と治るものなのです）、2.インフルエンザの迅速キットが大変普及しており、直ぐに比較的正確な診断が、どこの医療機関でも可能である、3.正確な診断のもとに抗インフルエンザ薬（ご存じタミフル、リレンザ）が直ぐに使用可能である（これらの薬は早く使用すればするほど効果が高く、48時間以上経過すると効果は半減します）、4.国民皆保健制度があり、費用としても比較的安く医療を受けることがで

きる、5.学級閉鎖、学校閉鎖などを流行早期に国全体で行った（これも組織的に実施している国は多くありません）、6.手洗い、うがい、マスク着用を多くのヒトがやった、7.国や国民の衛生状態がよい、8.貧困層が少ない、など様々なことが言われています。

通常、インフルエンザは世界各国で毎年多くの方が罹り、高齢者を中心に死亡を増加させます。2009年シーズンの場合はなぜか若年者に感染者が多く、脳炎などによる死亡が問題になりました。今年のシーズンはこれまでのところ、流行の兆しを見せているは香港A(H3N2)型のいわゆる季節型と言われているものです。よって、昨シーズンはあまり感染がなかったかのように言われている高齢者も油断はできません。我が国でもインフルエンザ関連の死亡は毎年約1万人と言われています。その死亡原因の多くはインフルエンザ感染後の肺炎とされています。

今シーズンのインフルエンザワクチンには新型インフルエンザ以外にこの季節型インフルエンザに対するものも含まれていますので、是非とも多くの方に接種していただきたいと思います。

また、我が国でも鶏や野鳥に鳥インフルエンザウイルスの感染が確認されたが、現時点ではこれら強毒性新型鳥インフルエンザが人から人に感染はしていません。しかし、当院でも、今後これに関する情報については十分に注意を払います。ついでですが、今までの情報では新型インフルエンザに対しても上述の抗インフルエンザ薬が有効です。



三豊総合病院は昭和26年12月1日に開設され、今年も12月1日に59年目の開院記念日式典として永年勤続職員表彰・特別講演会（藤井陽子事務次長の「病院のあゆみ」と長町顕弘部長の「ドイツ・フィンランドの医療、高齢者福祉制度および食文化」）等の行事を行ないました。



その後、観音寺市立中部中学校の生徒さんによる音楽会・イルミネーション点灯式を行ないました。まずは、職員有志により46年ぶりに復活した三豊総合病院歌2010に始まり、生徒さんによる息の合った合唱やジュニア音楽コンクール出場メンバーの迫力の合唱があり、とても盛り上りました。ベターズ先生によるアメリカ直輸入の本場ジャズ演奏も大盛況でした。アンコールの掛け声もあり、すばらしい音楽会でした。

イルミネーションは、2月末まで18時～21時の間点灯していますので、ぜひ一度見においで下さい。輝く光が皆様の心に暖かい灯火をプレゼントしてくれることと思います。昼間とは違った病院の中庭・玄関をお楽しみください。



『健康フェア2011』開催のご案内

テーマ：家族でメタボ予防～子どもを生活習慣病から守ろう！～

とき：平成23年3月5日(土) 9時00分～13時00分

ところ：三豊総合病院 玄関ホール

特別講演：11時00分～11時45分

三豊総合病院 小児科部長 島内 泰宏先生

「大切にしたい！子どもの生活習慣」～レッツゴー！バイバイ メタボ～

講演：10時30分～11時00分

三豊総合病院 理学療法士 久保 輝明先生

「エンジョイ運動！トップ食っちゃ寝！」

※当日は健康相談や歯科相談コーナー等があります。皆様、お誘い合わせの上お越しください。

お問い合わせ：三豊総合病院企業団 健康管理センター TEL0875-52-3366 (内線1610)



毎月の行事食

栄養管理科

あけましておめでとうございます。

行楽弁当・クリスマス・おせち料理と季節を感じていただけたらと、栄養管理科一同で心をこめて作りあげております。目で見て楽しんで下さい。



11月 行事弁当



12月 クリスマス

あけぼのご飯



米	2合
にんじん	30g
釜上げちりめん	16g
うすくちしょうゆ	14cc
酒	2.6cc
サラダ油	3.2cc

- ①にんじんはすりおろして、米といっしょに炊く。
- ②釜上げめんは調味料を入れ炒めておく。
- ③ご飯が炊けたら②と混ぜ合わせる。



1月 おせち料理